

## 城下町っておもしろい② 一杵築編一

新 谷 和 幸

## 1 はじめに

前回は、広島市の城下町としての魅力を紹介しました。この内容の一部は、中学年の地域学習や高学年の歴史学習で学びます。今回から、子どもたちが学習した内容を生かす上でふさわしい、とっておきの城下町を数回にわたってご紹介したいと思います。

## 2 城下町「杵築」

## (1) 難攻不落の杵築城

杵築は、大分県の国東半島の南にある都市です。女の子のいるご家庭なら、サンリオのテーマパーク「ハーモニーランド」のある日出町のお隣と言えば、お分かりでしょうか。

杵築は、「きつき」の名の由来となる木付氏が築城した杵築城の城下町です。先の大河ドラマ「軍師黒田官兵衛」にも登場しています。城と言えば、堀で巡らされているイメージがありますが、この城には見られません。一体なぜなのでしょう。

地図で確認してみましょう。すると、杵築城が八坂川や高山川、守江湾で囲まれています。さらに詳しく見ると、城下町周辺は高台になっています。つまり、杵築城は、堀を作る必要がないほど、三方を天然の要害で囲まれた難攻不落の城（図1・2）ということがわかります。



図1. 杵築城

## (2) 高台を利用した「サンドイッチ型城下町」

## ①高台の谷間にある商人町

この杵築の城下町ですが、日本唯一の「サンドイッチ型城下町」として知られています。町の案内図（図3）を見ると、杵築城周辺（【A】）以外に、高台の部分が谷間をサンドイッチするように町を二分する形で位置しています。この谷間が堀の役割も果たしています。

高台にサンドイッチされた谷間（【B】）には、商人の町が形成されています。ここが城下町のメインストリートです。今も昔も、交通の往来が盛んな場所は、お店を開くのに適した立地条件であることには変わりがありません。ここは、中学年社会科で学習した地域のお店の学習を生かす場にもなるのではないのでしょうか。



図2. 杵築城下町の高台（南台）

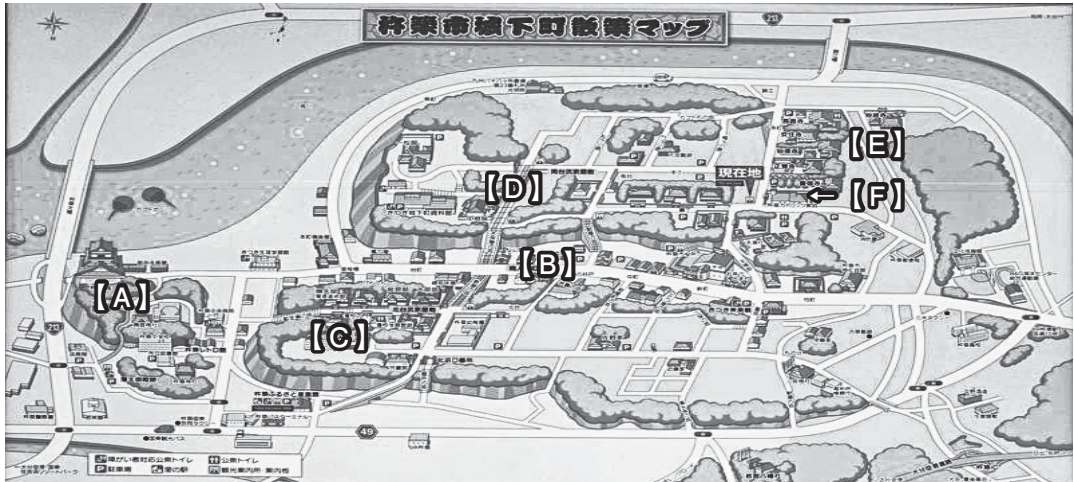


図 3. 杵築市城下町マップ

## ②高台にある武家町

高台を見ると、武家屋敷が形成されていることが分かります。実際、杵築城に近い高台（北台：【C】）には、「能美邸」(図 4) などの家老級の屋敷や「学習館」などの藩の重要な施設が集中しています。もう一方の高台（南台：【D】）には、下級の武家屋敷が配置されています。武家町が高台に形成されたり、2つの高台で武士の階級が異なったりした背景には、当時の武士中心の支配体制や城の防衛が関係しています。しかし、これは武家屋敷に限ったことではありません。



図 4. 能美邸

## ③南台にある寺町

下級武士が暮らす高台には、「長昌寺」「安住寺」「妙徳寺」「正覚寺」「養徳寺」といった寺院（【E】）が集中して配置されています。しかもこの場所は、杵築城から最も離れた場所に配置されていることが分かります。これは、日本の歴史において、本願寺合戦など幾度となく武家勢力の支配に対して宗教勢力が抵抗したためです。この抵抗には、信仰のある農民や町人といった人々が参加していました。そのため、高台での武士による宗教統制が行われたと考えられます。この場所は「寺町」という町名がついています。

## ④寺町にあるカトリック教会

また、この寺町には杵築カトリック教会（【F】）があります。この教会は日本風の瓦を使った歴史的に新しい建物です。隣町の日出はフランススコザビエルが到着した地であり、大分トラピスト修道院にはザビエルゆかりのものもあります。キリスト教を信仰されている人も多いことでしょう。杵築とキリスト教の関係を調べるのも面白いと思います。

## 3 おわりに

このように、杵築の町は、児童にとって社会科の学習内容を生かし、城下町広島と比較しながら楽しめる絶好の地です。現在杵築は「きものが似合う歴史的なまち」「美しい坂のあるまち」(図 5) として全国的に知られ、映画などの撮影も多く行われています。一度訪れてみてはいかがでしょうか。



図 5. 杵築の坂道

## ◆学習のヒント◆ 社会科

## 身近なところにある「社会科」Ⅱ

～普段当たり前にあるものを意識してみると～

伊 藤 公 一

## 1 はじめに

昨年度、「普段意識することのない生活の中で、当たり前のように存在するものの中にも社会科が隠れています。」というテーマで本誌を書かせていただきました。今年度も、そんな中から見えてくるものを探してみました。

## 2 毎日目にするもの

毎日の買い物の際に、必ずと言ってよいほど目にするものに、「お金」（正式には「貨幣」や「通貨」）があります。「お金」と聞いてまず思い浮かべることは、「お札」、「小銭」、あるいは子ども達にとっては「お小遣い」等々、買い物に関することだと思います。まず、「社会科！」と答える人はいません。

では、この「お金」にはどんな秘密が隠されているのでしょうか。

## 3 硬貨の中にこんな秘密が！？

日本で製造される硬貨には、1円、5円、10円、50円、100円、500円の6種類の硬貨と、国家的な出来事や文化遺産等を記念する記念硬貨があります。それぞれの硬貨には意味があり、願いが込められています。

たとえば1円玉ですが、アルミニウム素材で最も製造枚数が多いものです。1円玉は、「日本国」「一円」と「若木」、「1」のデザインがあります。このデザインは、なんと公募で決められたそうです。この「若木」は、伸びゆく日本が象徴されています。

また、5円玉にはいくつかの意味や願いが込められています。5円玉を注意深く見るとはほとんどありませんが、意識して見ると、中心に「歯車」、「五円」の文字の背景に何重もの線で表された「海・水」、そこから伸びる「稲穂・米」がデザインしてあり、これらは、それぞれ「工業」「水産業」「農業」の産業を意味しています。そして裏面には「ふた葉」がデザインされ、こちらは復興を意味しています。このように、5円玉は、戦後産業の復興の象徴であるとともに、その原料は当初、砲弾を溶かして製造されており、平和への願いが込められているので、わたしたちにとって身近な5円玉が、まさに日本社会の変遷や歴史を物語っていると言えるのではないのでしょうか。

## 4 紙幣は、まさに社会科の教科書！？

次に、紙幣はどうでしょう。歴史を学習している6年生は、きっと紙幣の表面に印刷されている歴史上の人物に注目することでしょう。たとえば、現在の紙幣は、「学問のススメ」の著者で、かつ蘭学者で、同時に教育者でもあった福沢諭吉、「たけくらべ」で有名な小説家の樋口一葉、黄熱病の研究者であり医師でもあった野口英世など、多くの歴史上重要人物が登場しており、彼らについて調べていくことが歴史に興味を持つきっかけになりま

す。

さらに、裏面はどうでしょう。財務省によると、紙幣の図柄の意味や採用された理由が以下の通り紹介されています。

#### 1万円札 宇治平等院の鳳凰堂の鳳凰像

最高券面額として、品格のある紙幣にふさわしいものとして、瑞鳥（ずいちょう）であり、旧1万円券の裏面でも図案化されていた鳳凰を採用したものです。

#### 5千円札 「燕子花図（かきつばたず）」（尾形光琳作）

表面の肖像が女性であることから、動物や建造物よりも花をあしらうのが適当と考え、国宝級の美術品で花をモチーフにしたものから採用したものです。

#### 2千円札 「源氏物語絵巻」と「紫式部日記絵巻」

源氏物語が、今からおよそ千年前の平安時代中期、紫式部により書かれた、我が国が世界に誇るべき文学作品であることから、採用したものです。左側には「源氏物語絵巻」の「鈴虫」の絵と詞を重ねたものが、右側には「紫式部日記絵巻」の紫式部の絵を素材としています。なお、「鈴虫」の詞書については、絵の場面とは異なりますが、「鈴虫」の冒頭にあたり、「すずむし」の文字がみられ、また、文字の美しさという点で評価が高いことなどから採用したものです。

#### 千円札 富士山と桜

1万円札、5千円札のテーマ（鳥・花）とのバランスを考え、風景を選択することとし、国民にも馴染みがあると思われる富士山と桜を採用したものです。

それぞれの紙幣には、日本を代表する美術作品や文学作品、風景等、まさに「日本」という国を象徴していると考えられているものがバランスよくデザインされています。社会科の教科書で目にするものもあれば、国語や図工で目にする「文学作品」や「芸術作品」もあります。

## 5 おわりに

社会の中で生活している私たちにとって、当たり前であり、普段意識することのない「お金」ですが、よく意識して見てみると、実はたくさんの秘密が隠されています。一度生活の中にある当たり前にあるものに目を向け、じっくりその秘密を探ってみると、そこから見えてくる「社会」や、今まで気付かなかった新たな発見があるかもしれません。

### 【参考資料・文献】

○財務省ホームページ (<http://www.mof.go.jp/faq/currency/07am.htm>)

○忍泰男『コインの歴史』創元社、1984

○日本銀行調査局『図録日本の貨幣9 管理通貨制度下の通貨』東洋経済新報社、1975

## カキとムール貝の「イガイ」な関係！？

田 坂 郁 哉

### 1. はじめに

「社会科」の学習にはどんなイメージをおもちですか。歴史上の人物や出来事、都道府県名を覚える学習という感じでしょうか。確かに、学習を進める中で覚える場面はあります。しかし私は、「社会科」は、自分の中にある知識や考え方を、身の回りにあるいろいろな「社会」とつなげることで、広げたり新しくしたりする学習だと感じています。先日ふとしたことから、新たに広がった「社会」について、ご紹介したいと思います。

### 2. ある日の晩酌にて

広島県は全国一の「カキ」の生産量を誇っています。そのシェアは60%以上です。カキフライ、かき鍋、パスタなど様々な料理に利用され、人々に親しまれています。私もカキが大好きで、毎年カキのシーズンになるのを楽しみにしていました。そのカキを3年生の学習に取り上げました。広島市の産業をテーマにした学習で、全国一の広島カキ養殖はもってこいの教材なのです。そういう理由もあり、特に今年度はよくカキを食べました。

さてそんなある日、自宅で晩酌をしようと、肴に「ムール貝のアヒージョ」というおつまみパックを購入しました。ムール貝はみなさんもお存知のように、パスタなどに使用される黒っぽい貝です。そのムール貝を一口食べて、「あれ？」と思いました。カキと味が似ているのです。もう一粒取り出してよく見てみると、カキに似た形をしているではありませんか。二周り小さくしたカキという感じです。「これはどういうことだろうか。」「貝殻は似て非なるものなのに。」と思い、カキとムール貝について調べてみることにしました。

### 3. カキについて

カキは、今から2億年以上前に出現したと言われ、以後世界中の沿岸部に生息している二枚貝の仲間です(図1)。幼生(赤ちゃん)の時に、岩などの硬いものに付着し、そこから移動することなく大きくなります。一般的に魚介の生食を嫌う欧米食文化圏の中で、例外的に生食文化が広がったのがカキで、ヨーロッパでは古代ローマ時代から養殖されてきました。

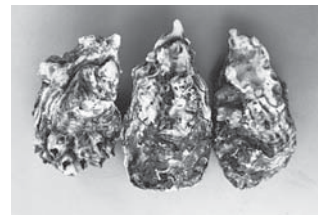


図1 カキ(マガキ)

広島でも昔から天然のカキがよくとれたようです。矢野、牛田、祇園にある貝塚からカキの貝殻が発見されています。これは縄文・弥生時代から、人々が岩や石についている天然のカキをとって食べていたことを示しています。カキの養殖は室町時代の終わり頃に始まったようです。このことは、大正13年に草津村役場が発行した草津案内に「天文年間、安芸国において養殖の法を発明せり」と書かれていることから分かります。

時代が進むにつれ、養殖方法も変化しました。現在は、筏などを利用して海中に吊るして成長させる垂下という方法が主流となっています。夏の間、海中にホタテの貝殻を吊るしておきます。すると海中を漂うカキの幼生が、ホタテの貝殻に付着します。この幼生のえさとなる植物プランクトンが豊富な場所に、筏に吊るしておくというのが、現在の養殖方法です。

#### 4. ムール貝について

ムール貝は、地中海沿岸を原産地とする二枚貝の仲間です。港などの波の穏やかな場所の岩礁や人工物に付着します（図2）。海中の植物プランクトンをえさとし、ろ過摂食（海水を吸い込み、こし取るようにして摂食すること）する点はカキなどの二枚貝と同じです。



図2 ムール貝  
(ムラサキイガイ)

養殖は、筏などからロープを海中に垂らし幼生を付着させ育てる方法と、海底に4mほどの杭を立て、付着させる方法があります。

面白いことに、この貝は外来種なのです。地中海が原産ですが、船の底に付着したり船の中の水に混入したりして、世界中に分布を広めました。日本では、1932年に初めて確認され、1950年代には日本全国の沿岸部に広がったとされています。繁殖力が強く、国際保護連合の「世界の侵略的外来種ワースト100」にも選定されているほどです。

もともと、日本に生息していなかった貝であるため、和食にはあまり利用されてきませんでした。洋食では、フランス料理、スペイン料理など様々な料理に使われます。パエリアやパスタなどは、日本人にもイメージがあるのではないのでしょうか。

#### 5. カキとムール貝の「イガイ」な関係

ここまででお気づきだと思いますが、カキとムール貝には類似点がたくさんあります。特に、その生態や養殖方法にはかなり近いものがあります。味や身の見た目が似ていたのは、こうした理由があったようです。

しかし、この2つの貝は、もっと深い関係があることが分かったのです。そのヒントとなるのは、ムール貝が「繁殖力の強い外来種」ということ、「生態や養殖方法が似ている」ということです。お分かりでしょうか。

実はこのムール貝は、全国のカキ業者を悩ませる「ムラサキイガイ」という貝なのです。なんと、ムラサキイガイが、カキ筏やカキに付着するのです。すると、えさである植物プランクトンがカキに十分に行き渡らず成長不良になったり、その重さに耐えられずカキが海底に落ちてしまったりします。広島県では、行政と業者が一緒になって、このムラサキイガイの被害を少なくしようという取り組みもなされているほど、カキからすると憎き外来種なのです。

#### 6. ムラサキイガイからムール貝へ

広島県でカキがよく採れるということは、同時にムラサキイガイもよく採れるということです。こうした現状から、カキ筏に付着したムラサキイガイを採り、ムール貝として養殖・出荷している業者もあります。「広島のカキ」と「広島のムール貝」が同じHPで販売されているところに、社会の面白さを感じます。

#### 7. おわりに

ふと感じたことから調べてみると、このような関係を発見することができました。自分の中にある「ムール貝」という知識や考え方が、「カキ」とつなげて考えることで、新しいものになっていきました。これこそ「社会科」の学習であると感じています。そしてその題材は、食卓といった案外身近なところに転がっているのかもしれない。